

大崎市誕生20周年記念誌

20年の感謝

宝の都(くに)・大崎を未来へ

大崎市章（平成18年3月31日制定）

大崎市の最初の一文字「お」をモチーフにしてシンプルに表現。たわわな実りをイメージした形で、円の中に躍動感いっぱいの「お」を構成。活力に溢れ、未来に飛躍するまち、大崎市のパワーを象徴しています。

大崎市民憲章（平成18年11月3日制定）

大崎市民憲章

平成18年11月3日制定

恵みの森，奥羽山脈から湧き出る水は，大地を潤し文化の花をさかせます。
いにしえより伝統ある豊饒の地は，創造性に富む地域の力をはぐくみます。

私たちは　ここに生きる大崎市民です

一人ひとりを尊重し　ともに手をとり行動します
生き生きと　笑顔あふれる大崎をつくります
考え学び　豊かな心と力で大崎をたがやします
子どもたちが誇れる風土　大崎をみがきます

大　崎　市

大崎市民歌（平成28年11月3日制定）

作詞：朝倉 修（あさくら おさむ）　　作曲：さとう 宗幸（さとう むねゆき）
編曲：榊原 光裕（さかきばら みつひろ）

1番
江合鳴瀬の 水清く
大地潤し 幸を呼ぶ
優しい四季の 陽を浴びて
花もまばゆく 咲き競う
ああ大崎は さわやかに
希望の風が 巡るまち

2番
歴史に文化 煌めいて
水鳥遊ぶ 平和郷
見上げる先の 峰々に
歌も楽しく 響き合う
ああ大崎は すこやかに
幸せ共に 描くまち

3番
心潤す 湯煙に
集う人の和 弾む声
開く祭りも 絢爛と
明日への意気を 盛り上げる
ああ大崎は たくましく
絆を深め 伸びるまち

大崎市の花・木・鳥（平成28年11月3日制定）



市の花 ひまわり

「ひまわり」は、太陽に向かって咲き、大地にしっかり根付く力強い様が、光り輝く将来の創造を感じさせ、私たちのまちづくりを拓く礎を象徴します。



市の木 桜

「桜」は、7つの地域をつなぐ架け橋となり、地域の特性や実情の違いを認め合い、一体感を象徴します。



市の鳥 マガン

冬の朝に10万羽の「マガン」が一斉に飛び立つ光景は、雄健かつ気丈に満ち、私たちが飛躍する姿と重なり、おおさきの飛翔を象徴します。

大崎市誕生20周年記念ロゴマーク

●制作者：三上 航太郎 さん(田尻中学校)

大崎市を象徴するひまわりや桜、マガン、米を取り入れ、青い空を背景に金色の枠で20周年らしい華やかさを表現しています。

発　行／大崎市総務部 秘書広報課　【令和８年11月発行】
TEL.0229-23-5023　〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号
【大崎市代表】 TEL.0229-23-2111　web https://www.city.osaki.miyagi.jp/





感謝と挑戦

平成18年3月31日に、当時の古川市、松山町、三本木町、鹿島台町、岩出山町、鳴子町、田尻町の1市6町が合併して、県内第3の人口を有する大崎市が誕生しました。この20年の歩みの中で、大崎市を支えていただいた皆さま、大崎市をけん引していただいた皆さま、大崎市を応援していただいた皆さま、本当にありがとうございます。

旧1市6町がそれぞれの歴史や風土に育まれた魅力を有していることから、「宝の都(くに)・大崎 ずっと大崎 いつかは大崎」を将来像に掲げて、大崎市としてのまちづくりの歩みを進めてきました。特に、大崎市流地域自治組織の取り組みは、各地域の中に「自分たちの地域の未来を自分たちで創ろう」という、まさに自治意識を育ててきたと思います。

一方、20年の歩みの中では、東日本大震災や度重なる水害、新型コロナウイルス感染症の流行など、私たちの暮らしに大きな困難を強いる場面もありました。しかしながら、その都度、私たちは心を一つにするという思いで乗り越えてきました。また、世界農業遺産の認定や世界かんがい施設遺産の認定・登録、ラムサール条約湿地の登録などを生かして、さまざまな分野で世界に発信できる大崎の宝を磨いてきました。

大崎市は、今年で二十歳(はたち)を迎えました。人生に例えれば、20代の生き方がその後の人生を決めていく、と言っても過言ではないのだと思います。かけがえのない体験や多くの方々との出会いをいただき、そうした積み重ねこそが、その後の人生を歩む大きな力になるのだと思います。

大崎市としての二十歳(はたち)に感謝しつつ、宝の花が咲くような大崎を未来に向けて、みんなで育てていけるように、大崎市としての20代、あらゆる可能性に挑戦していきます。

大崎市長　中鳥源陽



▲鳴子温泉地域の鳴子地区と鬼首地区の往来を容易にした「国道108号花渕山バイパス」の開通



▲『ささ結』の愛称が決定した新品種米「東北194号」



▲伊藤 康志 初代大崎市長初登庁



▲渡り鳥のマガンをモチーフにした大崎市公式キャラクター「パタ崎さん」



▲東日本大震災で被害を受けた古川地域江合橋付近の市道



▲「蕪栗沼・周辺水田」に次ぎ、「化女沼」が市内2カ所目のラムサール条約湿地に登録

あの日から20年、今の私たち

大崎市誕生とともに創刊した「広報おおさき」。創刊号の表紙を飾った三本木地域の「稚児行列」に参加した子どもたちは、20年の時を経て、それぞれの道を歩んでいます。当時の写真を振り返りながら、20年後の今と大崎市への思いを聞きました。



▲「広報おおさき」創刊号

●思い出を胸に、これからも（齋藤 佳澄（かすみ）さん）

20年という時間の長さに驚くとともに、子どもの頃の毎日を懐かしく思いました。当時は当たり前だった日々も、今では大切な思い出です。現在は、整骨院で働いています。環境も変わりましたが、写真を見ると当時の景色や日々を思い出します。これからも大崎市が子どもから大人まで楽しく過ごせる場所であればいいなと思います。

●懐かしい記憶と、これからの大崎（今野 優利華（ゆりか）さん）

久しぶりに写真を見返し、当時を懐かしく思い出しました。「まぶしいな」「どこまで歩くんだろう」と考えてばかりで、何のイベントかよく分かっていなかったことも、今ではいい思い出です。現在は、東京でフリーランスとしてアナウンスなどの仕事をしています。これからも活気があり、にぎやかで、帰ると懐かしさを感じる大切な地元であってほしいと思います。



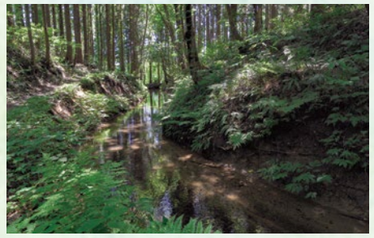
▲古川市・松山町・三本木町・鹿島台町・岩出山町・鳴子町・田尻町が合併して大崎市が誕生

大崎市20年のあゆみ

- 平成18年 3月 1市6町が合併して大崎市が誕生
- 平成18年 4月 「広報おおさき」創刊号発行
- 平成18年 5月 伊藤 康志 初代大崎市長就任
- 平成18年 11月 53人の議員による大崎市議会が発足
- 平成19年 12月 大崎市民憲章制定
- 平成20年 2月 大崎市総合計画策定
- 平成20年 4月 子育て支援施設大崎市子育てわくわくランド開設
- 平成20年 6月 三本木子育て支援総合施設ひまわり園開園
- 平成20年 8月 平成20年岩手・宮城内陸地震（大崎市では最大震度6弱）
- 平成20年 10月 「化女沼」が国指定鳥獣保護区に指定
- 平成21年 2月 「化女沼」がラムサール条約湿地に登録
- 平成21年 8月 「松山人車軌道」が「近代化産業遺産群続33」に認定
- 平成21年 9月 大崎南学校給食センター開設
- 平成22年 4月 東北自動車道 三本木スマートインターチェンジ運用開始
- 平成22年 10月 鹿島台子育て支援総合施設なかよし園開園
- 平成23年 3月 大崎定住自立圏形成協定締結
- 平成23年 3月 東日本大震災（大崎市では最大震度6強）
- 平成24年 3月 大崎市民病院岩出山分院新病院開院
- 平成24年 8月 県内初、住民票の写しなどの証明書コンビニ交付サービス開始
- 平成25年 4月 大崎市公式キャラクター「パタ崎さん」誕生
- 平成26年 1月 新品種米「東北194号」の愛称を『ささ結』と命名
- 平成26年 2月 古川東中学校新校舎完成
- 平成27年 1月 大崎市・台東区姉妹都市締結30周年記念式典
- 平成27年 4月 大崎市話し合う協働のまちづくり条例施行
- 平成27年 9月 関東・東北豪雨
- 平成28年 4月 大崎市バイオマス産業都市構想認定
- 平成29年 2月 大崎市民病院新本院開院
- 3月 「国道108号花渕山バイパス」開通
- 11月 東北自動車道 長者原スマートインターチェンジ24時間運用開始
- 12月 「あ・ら・伊達な道の駅」が重点「道の駅」に選定
- 平成29年 3月 大崎市夜間急患センター開設
- 9月 「鳴子ダム」が選奨土木遺産に認定
- 10月 国道347号「絆」交流促進協議会災害時相互応援協定締結
- 11月 大崎市誕生10周年記念式典
- 12月 大崎市の花・木・鳥および市民歌制定
- 平成30年 1月 「内川」が世界かんがい施設遺産に認定・登録
- 2月 大崎市地酒で乾杯を推進する条例施行
- 4月 第2次大崎市総合計画策定
- 令和元年 5月 大崎地域の「持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の伝統的水管理システム」が日本農業遺産に認定



▲全国初となる公立の認定日本語教育機関、おおさき日本語学校開校



▲江戸時代から地域で守り続けている水管理施設として世界かんがい施設遺産に認定・登録された「南原穴堰」



▲市街地再開発事業によって官民複合施設「なのかまち交流プラザ」に整備された地域交流センター「あすも」が開所



▲中島 源陽 第2代大崎市長 初登庁



▲教育委員会など分散していた行政機能を集約した大崎市役所新庁舎が完成



▲防災や市民交流の拠点としての機能を担う鳴子総合支所新庁舎等複合施設が完成



▲平成29年9月に重要文化財に指定された「木造千手観音坐像」の一般公開が開始



▲「世界農業遺産 大崎耕土のストーリーをつなぐ」をテーマに、大崎の魅力が詰め込まれた「道の駅おおさき」がオープン



▲大崎市産の木材を約98パーセント使用した田尻総合支所新庁舎が完成



▲図書館機能と生涯学習やまちづくり活動の場となる複合施設機能を備えた図書館（来楽里ホール）が開館



▲イタリア・ローマのFAO（国際連合食糧農業機関）本部で行われた世界農業遺産認定証授与式

平成29年

- 7月 図書館（来楽里（きらり）ホール）開館
- 9月 「木造千手観音坐像」が重要文化財に指定
- 12月 「持続可能な水田農業を支える「大崎耕土」の伝統的水管理システム」世界農業遺産に認定

平成30年

- 4月 世界農業遺産認定証授与式
- 岩出山・西大崎・上野目・池月・真山小学校を統合し、岩出山小学校開校

平成31年

- 1月 化女沼ラムサール条約湿地登録10周年記念「ラムサールフェスティバル」

令和元年

- 7月 「道の駅おおさき」オープン
- 9月 愛媛県宇和島市・北海道当別町・大崎市「伊達な絆 交流宣言」調印
- 宮城オルレ「大崎・鳴子温泉コース」オープン
- 10月 令和元年東日本台風
- 11月 子育て支援拠点施設「わいわいキッズ大崎」開所

令和2年

- 2月 田尻総合支所新庁舎開庁

令和3年

- 3月 大崎市景観計画策定
- 4月 清滝・宮沢・富永・長岡小学校を統合し、古川北小学校開校
- 6月 大崎市民病院鳴子温泉分院新病院開院
- 8月 大崎東学校給食センター開設
- 10月 鳴子総合支所新庁舎等複合施設開庁
- 11月 大崎市誕生15周年記念式典
- 富山県黒部市姉妹都市締結

令和4年

- 3月 令和4年福島県沖を震源とする地震（大崎市では最大震度6弱）
- 4月 地域交流センター「あすも」開所
- 5月 「SDGs未来都市」選定
- 7月 令和4年7月大雨
- 11月 世界農業遺産「大崎耕土」認定5周年記念フォーラム

令和5年

- 1月 大崎市役所新庁舎完成
- 4月 志田・西古川・東大崎・高倉小学校、古川西中学校を統合し、市内初となる義務教育学校として古川西小中学校開校
- 5月 大崎市役所新庁舎開庁
- 大崎市議会新議場開場
- 6月 大崎市役所新庁舎開庁記念「目で観る刀の教科書展」
- 8月 大崎市ジビエ食肉処理加工等施設完成

令和6年

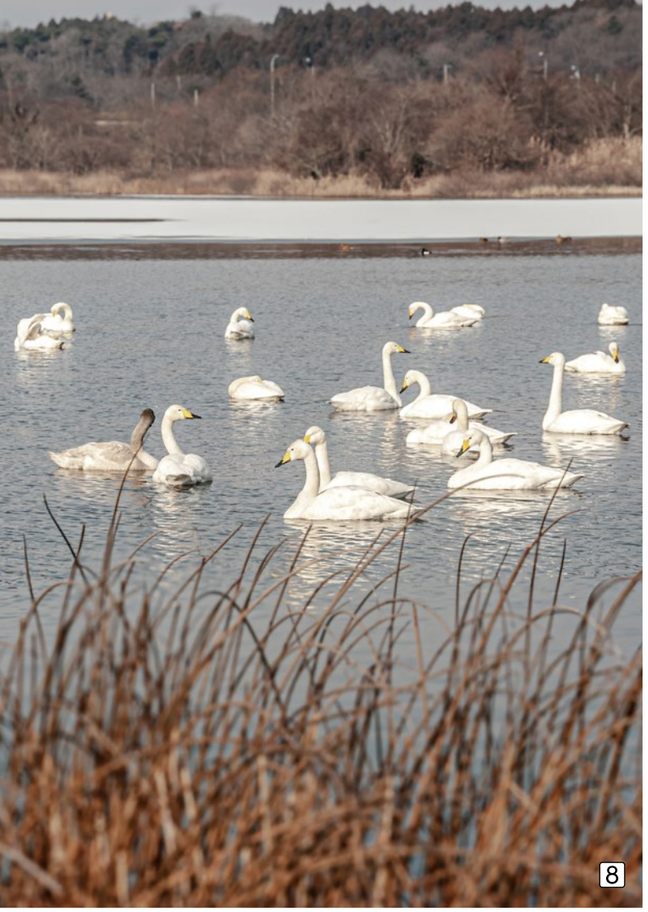
- 5月 大崎市・台東区姉妹都市締結40周年記念式典
- 9月 「南原穴堰（ぜき）」が世界かんがい施設遺産に認定・登録

令和7年

- 4月 おおさき日本語学校開校
- 鳴子・川渡・鬼首小学校、鳴子中学校を統合し、鳴子小中学校開校
- JR西古川駅を20年ぶりに有人化
- 6月 大崎市日本刀展示会「見どころ学べる！目で観る刀の教科書展」開催
- 11月 「蕪栗沼・周辺水田」ラムサール条約湿地登録20周年祭
- 12月 「国道108号古川東バイパス」開通

令和8年

- 3月 大崎市誕生20周年記念ロゴマーク決定
- 4月 松山・下伊場野小学校を統合し、松山小学校開校
- 中島 源陽 第2代大崎市長就任
- 11月 大崎市誕生20周年記念式典













1田園と陸羽東線（古川地域）、2白山神社（田尻地域）、3まつやま夏まつり（松山地域）、4デリシャストマト（鹿島台地域）、5全国こけし祭り（鳴子温泉地域）、6南原穴堰（鳴子温泉地域）、7旧有備館および庭園（岩出山地域）、8化女沼（古川地域）、9金津流松山獅子躍（松山地域）、10無栗沼（田尻地域）、11コスモス園【松山御本丸公園】（松山地域）

写真で観る 未来につなげたい大崎の宝

「未来につなげたい大崎の宝」をテーマに、未来に残したい市内各地域の「宝」を写した写真を募集しました。

表紙を飾るのは、鳴子温泉地域川渡地区の河川敷に広がる菜の花の中、子どもを高く抱き上げる親子の一枚です。季節の風景と共に刻まれた家族の思い出が、子どもたちの心に残る故郷の原風景になることを願った写真です。

風景や人、暮らしの一瞬に込められた思いと共に、大崎市の魅力を伝えます。












20


19


18

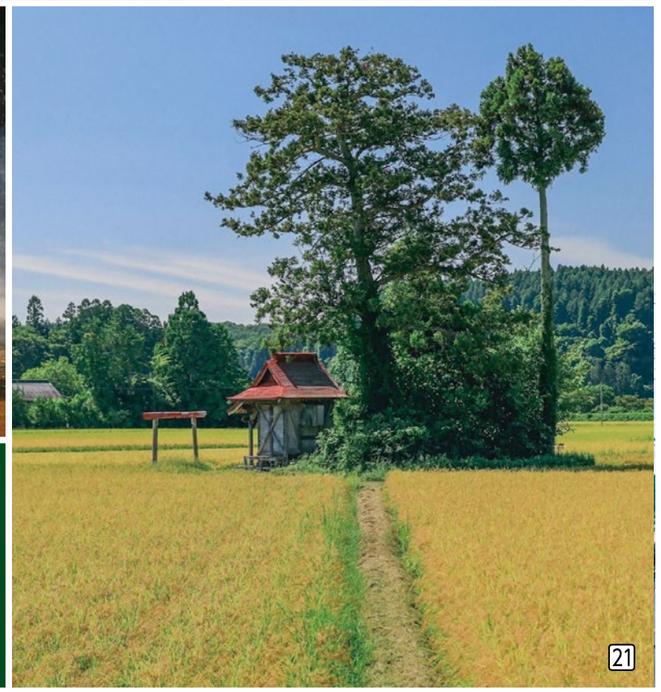

13


12


14


23


22

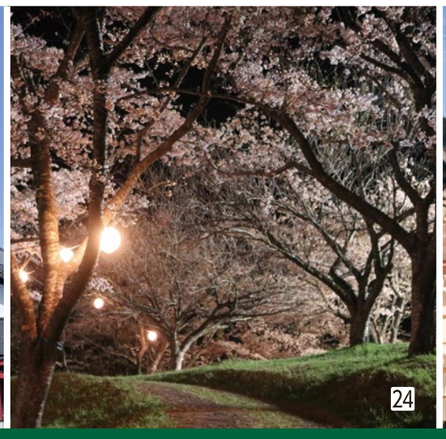

21


16


15


26


25


24


17

12鳴子峡（鳴子温泉地域）、13ひまわりの丘（三本木地域）、14蒸気機関車C58形114号機（岩出山地域）、15大崎バルーンフェスティバル（岩出山地域）、16鹿島台わらじまつり（鹿島台地域）、17岩出山凍り豆腐（岩出山地域）、18鹿島台互市（鹿島台地域）、19潟沼（鳴子温泉地域）、20羽黒山公園の彼岸花（古川地域）、21荒脛巾（あらはばき）神社（岩出山地域）、22若宮八幡神社 湯花行事（三本木地域）、23薬師の乳イチョウ（田尻地域）、24加護坊山（田尻地域）、25食の蔵醸室（かむろ）（古川地域）、26人車（松山地域）